



平成 21 年 9 月 29 日

各 位

会 社 名 森 下 仁 丹 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 駒 村 純 一  
(コード番号 4524 東証・大証各2部)  
問 合 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員 武 貞 文 隆  
電 話 番 号 06-6761-1131(代表)

## 岡山大学とシームレスカプセルを利用したシロアリ駆除剤の開発に着手

当社は、既に公表している合成高分子樹脂を皮膜とするシームレスカプセル開発に関して、国立大学法人岡山大学大学院環境学研究科の松浦准教授らの研究グループと、本合成高分子樹脂皮膜シームレスカプセル技術を応用したシロアリ駆除剤の開発に着手しました。

シロアリは、木材自体を摂食するため、家屋の構造物を蝕み、地震の際の木造住宅での被害は甚大で、その駆除の市場規模は全世界で 1000 億円以上の市場規模といわれています。

従来の駆除は対象箇所に薬剤を散布する方法で実施されていますが、木材の中に潜んでいるシロアリまで完全に駆除することは難しく、駆除剤を大量に散布することによる環境への影響が懸念されます。松浦准教授らの研究グループは、女王アリの産んだ卵を働きアリが育室に持ち帰り、舐めて世話をするシロアリの習性に着目し、擬似卵型の駆除剤を用いることで高度な社会生活を営んでいるシロアリを最も効率的かつ巣全体を完全に駆除する方法の確立を目指しています。

この度、当社は合成高分子樹脂を皮膜とするシームレスカプセル技術応用の一環として、松浦准教授らの研究グループと産学連携体制（大学－企業間連携）でこの様なシロアリ駆除剤の実用化に向けた開発の取り組みを開始しました。本取り組みに関しては、本年 7 月に独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構生物系特定産業技術研究支援センター平成 21 年度「イノベーション創出基礎的研究推進事業」の課題テーマとして採択され、岡山大学松浦准教授らの研究グループと当社を含む 3 社共同で開発することが決定しました。

当社の取り組みは、様々な素材、形態の合成高分子樹脂を皮膜とするシームレスカプセル技術を利用し、シロアリに卵として認識され、巣内に運搬された後に効率よく殺虫成分を放出させるための擬卵基材の開発です。シロアリは卵の短径（0.4～0.5mm 程度）を挟んで運びますが、当社のシームレスカプセル技術は微細なカプセル製造が可能のため、擬卵の製造に適していると考えます。

当社では、シームレスカプセルの応用開発に積極的に取り組んでおり、医薬品分野やプロバイオティクス、フレーバーなどの分野で既に事業化されていますが、今後は本取組をはじめ工業用途への展開も考えています。

なお、本件の本年度業績への影響は軽微であり、本年度の業績予想に変更はありません。

以 上